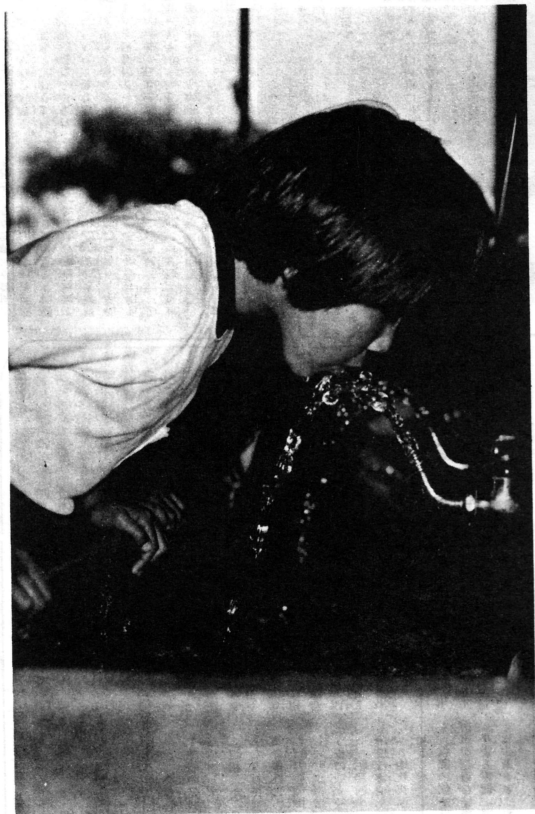


広報



# しうら



## 深めよう水の認識

一日から「水道週間」

水の大切さは、いまさらいうまでもありません。もし、水道の水が止まったら、わたしたちの生活は即座にマヒします。家庭で、学校で、病院で、工

場のいたるところで立ち往生します。その半面、わたしたちは水道の便に慣れて、ややもすると、ふだんは水のありがたさをそれほど感じないで暮らしています。ちやうど、健康なときは健康のありがたさを意識しない

のと同じように。

今のところ市浦村の水不足は心配ないものの、昨年の年間配水量は十五万六千、今年は十三地区でも給水されるので二十万三千、(ドラム缶で約百一万五千本)の配水量が見込まれています。

この機会に、いま一度暮らしの中の水について考えてみましょう。

昭和54年

5月号

# 3期目にのぞんで

—就任の抱負を語る白川村長—



四月二十二日に行われた村長選挙で、白川治三郎村長が三選されました。  
今後四年間、村政を担当することになった白川村長は三期目の抱負を次のように語りました。

私はこのたびの村長選挙をとおして、十三湖の内水面漁業の振興、畜産基地造成、ほ場整備、観光資源の開発など、豊かな村づくりを訴えてきました。また、老人福祉や農業後継者の育成など幅広い施策を公約にかかげましたが

公約を単に口約束にしないよう、実現に努力するつもりです。さらに今年には、市浦村の六十年代を想定した長期総合開

## 村民との対話大切に 豊かな村づくりを

がら行政に反映させ「明るく心豊かな住みよい村づくり」に取り組み決意であります。まずは、五十四年度の主要事業として、

①畜産振興の拡充を図るため約四百畝の草地を造成して、公共育成牧場を設置します。

村の肉牛飼育農家は六十六戸。繁殖、肥育牛合わせて約一千頭が村の経済の基幹をなしており、これまでの飼育実績と農家の意欲を生かして、当面は千五百頭飼育の規模に発展させたいと思っております。

②サケ、マスふ化増完成に伴ない、今年は二十万粒のサケをふ化し、五月上旬に稚魚を放流しましたが、沿岸漁業の不振にあえぐ漁家の所得増大の「切り札」として、サケ・マス繁殖事業を位置づけるつもりです。

③十三小学校に水泳プールを建設するほか、同地区に常設保育所を設置します。道路行政についても、生活環境の改善や村勢進展の基礎としても極めて重要な意味を持つものであり、九

路線の道路を舗装します。また、次の世代になろう青少年の健全育成と、社会の進歩に対応できる人間の養成等教育、文化の振興といった積極的にその対策を講じていくつもりです。

村づくりは、人づくりからという判断に立ち、社会教育主事の派遣を求め、その活動の強化をはかっております。「明るく心豊かな住みよい村づくり」のために、村民皆さまの積極的なご指導ご協力をお願いする次第であります。

## 叙勲おめでとう

藤田弥男造さん(磯松に)

勲六等单光旭日章

磯松地区の藤田弥男造さんは、長い間の叙勲功勞が認められ、春の叙勲で勲六等单光旭日章を受章しました。

昭和二十二年、学制改革にあたり村発展の礎は教育と産業の振興にあることを確信し、なほり強く関係者を説得、乏しい財政事情にもつて脇元中学校の独立校舎の新築に努力し、昭和四十五年、市浦統合中学校実現までの約二十年間、へき地教育振興のために貢献しました。

叙勲の伝達授与式は、五月七日、県庁で行われ、北村知事から勲記と勲章が藤田さんへ手渡されました。



一喜びを語る  
藤田弥男造さん

市浦宮林署長

菊谷 謙三さん (50歳)



### 地元住民と密着

理解を深めたい

着任して間もないので、何につけても地元住民と接触し、国有林への理解を深めることです。とキッパリ。植物を育てることに關しては自信があるとか。趣味は囲碁。酒はつきあい程度で、若いころ野球と水泳をしたというスポーツマンである。志願者夫人と二人で赴任しました。西郡駐ヶ沢町出身。

「森林資源は、あくまでも共有(国・国民)財産であり、地元の産業振興の発展や住民福祉のためと思う。それ



▶ 4 ◀

のために、村の産業振興につなげるお手つだいができると思っています。」  
この四月、青森宮林局造林課長補佐から着任した菊谷さんは着任の抱負を一気に語ってくれました。  
「役人特有の固さはなく、明るく、ソフトな人柄で何んでも気軽に話してくれる。」

県立五所川原農学校を卒業。昭和二十年、むつ宮林署を振りだしに、これまで大間川内佐井宮林署など、下北での勤務も多し。

務が長かった。「私は、下北は二十六年ぶりに帰ってきた」と明るく笑いとばす。「市浦村の総面積の八十二パーまでが国有林で占められており、地元住民は、何んらかの形で国有林と結びついていると思う。私たちは住民との接触を通じて地域の発展につくしたい。そのためには住民が気軽に出入りできるような職場づくりにつとめ、地域の人たちから親しまれる宮林署にしたい」とも話す。

宮林署には「五農」の後輩も多く、職場も明るい。市浦と小泊の事業所に多くの職員をかかえているので、山火事防止はもちろん、労働災害、交通事故防止にも力を入れていきたい」と職員の方務管理にも余念がない。

### ベゴッこの放牧始まる



岩井牧場に放牧された牛

### 元気に駆けるモウ君

今年も肉牛の放牧が始まりました。五月八日から三日間、実取地区を皮切りに、岩井、脇元、三牧場に五百六十四頭の黒毛和牛が勢ぞろい。牧場へは、朝早くから冬の間、各農家で飼育されていた牛がトラックで次々と運び込まれ、家畜保健衛生所、県農共進家畜診療所、西郡駐在所、北農林事務所の係員が、病気がないかどうか

か、一頭一頭念入りに検査をしました。昨年冬から今年の春にかけて生まれた約百九十四頭の子牛も体重計に乗せられ、鼻紋をとって初登録されました。検査を終えた牛は、期待に満ちた農家の人たちに見守られながら牧場に放牧され、十月までの六か月間、広々とした草原でのんびり過します。

### 山火事をなくしましょう



山火事をなくし、青森県の名にふさわしいまどり豊かな森林資源を守りましょう。

たばこのボーイ投げはやめるとり、レクリエーション、ハイキングなどで入山のときは、林内でのくわえ「たばこ」をやめ、吸いがらのあとしまつを完全に。忘れるな、山の心得 火のしまつ

# 交通安全 みんなですすめよう 交通安全

## 交通安全ルールを守ります

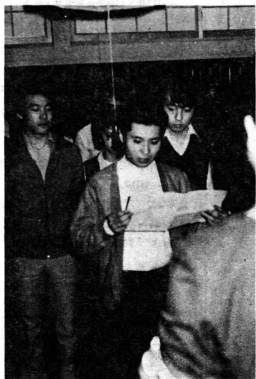
春の全国交通安全運動は、五月十一日から十日間実施されましたが、期間中、各関係機関団体が自主的な運動をして事故防止に立ちあがりました。

交通二悪を  
追放し、安全  
運転を励行し  
ます。

「だんぶり  
の会」（三浦  
美智男会長）  
では、五月十  
八日基幹集落

センターに、  
全会員を集め  
て、交通安全  
宣言をしまし  
た。

だんぶりの



佐々木交通係長を前に安全宣言  
をしました。

会は、村内の十九歳から二十  
四歳までの男女二十一人で組  
織されており、これまで、青  
年の意識を高めるための学習  
会を中心に村民文化祭、交歓  
会、クリスマスパーティーなど、  
自主的な青年活動をしていま  
す。

同会では、県内の交通事故  
の激増とそれによる死傷者の  
数も最悪のペースとなってい  
ることを重くみて、会員一人  
ひとりが安全運転を心がけ、  
管内の交通事故防止に立ちあ  
がったものです。

この日は、金木警察署から  
佐々木一夫交通係長も出席し、  
これまでの交通事故のほとん  
どが若年層で占められている  
——と、同署管内の事故原因  
を分析、「管内の交通事故防  
止につとめてほしい」と激励  
しました。

このあと、事故防止の具体  
的な話し合いをし、だんぶり  
の会が、安協市浦支部の青年  
部会として運動を展開するこ  
とも決めました。

## こちらは「ゆで卵」をサービス



交通安全をお願いします。  
「ゆでたまご」を配るお母  
さんたち

子どもと老人を  
交通事故から守る  
ため、安全運動に  
心がけよう。と  
臨元保育所の会  
（今 満代会長）  
では、五月十一日  
村内を走る国道三

三九号線に繰り出し、道行く  
ドライバーに「ゆでたまご」  
とチラシをくぐりました。  
同保育所の会では、十一  
日から始まった春の全国交通  
安全運動をあげ、わが子  
を交通事故から守ろう。と「ゆ  
でたまご」作戦に出たもので

す。  
色とりどりの交通安全標語  
が書き込まれた「ゆでたまご」  
をプレゼントされ、ドライバ  
ーたちは「こりやあどうも」  
安全運転をします」とニッコ  
リしていました。

スピード違反一万円、借  
号無視六千円、駐車違反五  
千円車を運転される方は反  
則金についてよく存知は  
思いません。無免許運転や酒  
酔い運転などは別ですが、  
それ以外の交通通  
反をした人は、こ  
の反則金を納める  
ことよって刑事裁判や家  
庭裁判所の審判を受けず  
すみます。  
ところで、この反則金は、  
銀行や郵便局に払い込むの  
ですが、その後これらのお

### 交通反則金は このように使われています

金かどのように使われている  
のか、ご存知ない方もお  
られるようです。  
払い込まれた反則金は、  
全額いったん国庫に納めら  
れた後、交通安全のために、  
いかにという疑問も  
あるようですが、  
そのまようことは  
一切ありません。また、特  
交金の交付額は、人口密  
度や事故発生件数などに  
よって決められ、都道府県や市  
町村ごとの取り締まり件数  
には全く関係がありません。



# ゴミ公害から自然を守ろう

6月5日～11日

## 環境週間

六月五日から十一日まで、環境週間で、わたしたちの家庭から出るゴミの量は、年々、増える一方です。いまや「ゴミ戦争」といわれるほどで、膨大なゴミの量と処理費用の増大は財政的にも深刻化する一方です。

また、山や海などの自然も、ゴミ公害に泣いています。レジャーを楽しむ人たちのマナーの悪さが、貴重な自然を痛めつけているのです。ゴミ公害からわたしたちの環境を守ろう。よりよい環境を求めて一人ひとり気をつけましょう。

## 自然はみんなのもの

### 憩いの場所をゴミから守ろう

のです。

たまの休日、家族そろって大自然のなかで一家団らんは、心はずむ楽しいひとときです。おべんとうはおいしいし、新鮮な空気を胸いっぱい吸って、「命の洗たく……」しかし、せっかく訪れた山や海がゴミだらけ、空きカンだらけでは、楽しい気持ちもすつかりさめてしまいます。ふだん家庭のなかではきれいい好きでも、たんらんに出ると、とたんに「ゴミ無関心派」になってしまう人は、以外と多いものです。「私一人ぐらいいは……」という気持ちから、ついゴミをポイと捨ててしまおう。それが積み重なってゴミの山……ということになる。

家庭で出る「生活ゴミ」は一日平均約一誌といわれています。これにくらべて観光地のゴミは、一人当たり約五誌。家庭のゴミの二十分にすぎないものの、人がたくさん集まると、膨大な量にふくれあがります。家族そろってのピクニックやハイキングでは、ゴミの扱いについて、まず親が子供たちに見本を示しましょう。出かける時に、ゴミ用のビニール袋などを用意しておくに便利です。

自然はみんなの憩いの場所です。一人ひとりの心がけできれいにしましょう。

## 総出で側溝の泥あげ



側溝の泥あげをする吉野地区住民

吉野町内会と広生納税貯蓄組合(三浦兼四郎組合長)では、健康な生活はまず「環境の浄化から」と今年も側溝の泥あげをしました。

この日は、吉野地区住民が総出でクリーン作戦をくり広げたもので、泥は二トトラックで二台にも達しました。

同地区で側溝の泥あげをはじめたのは四年前からで、毎年一回行っています。以前は、悪臭がひどく、害虫などの温床になったりで、不衛生きわまりない状態でしたが、年一回の泥あげで悪臭もなくなりまし。

今年も地区住民が力を合わせての作業は予想以上にはかどおり、部落はきれいな環境をとりもどしました。

### 自動車税の納期限は

## 六月三十日です。

納税貯蓄組合員の方は、組合を通じて納めて下さい。

連載

★村民ひろは★

誤保護



中村 隆三  
(市浦中学校長)

五月はまさに子ども  
の月である。私の近所  
にもコイのぼりが見ら  
れ、初夏の風を受けて勇壮に空をおよ  
いでる。  
子どもがたくましく育ってほしいとい  
う親の願いがこめられてはほえまし  
い。

五月の季節



小笠原 俊治  
(地公務員)

五月の季節は、もえ  
あがるように明るい田  
畑の新芽の色ではない  
だろうか。  
五月の新芽は、私たちに生きることの  
素晴らしさを与えてくれます。  
親光の名所となった十三湖と親の味に  
は特別なものがあり、人間にとって縁が

しかし、こうした親の願いとは逆に最  
近の子どもは、身心共に貧弱になってい  
る。  
過保護をとりこして誤保護になった  
のが原因という。

子どもが希望をもって生きていくため  
の夢や創造の世界はある程の危険や、  
冒険から生まれるように、誤った保  
護から、安全コースだけを押つけて、  
子どももつっている勇氣や可能性を無理  
につまみ切っている。  
強風に立ち向かってこそ、コイも矢車も  
生きてくるのだ。

どんなに大切であるかを、この松林を通  
るたび語りかけてくれる。  
一日の農作業を終え、帰る母の背で、  
もう眠りについてはいる子供の顔をみると  
き、一日の幸せが感じられる。  
泥と汗にまみれて働く母の姿には、精  
一杯生きぬこうとする涙で美しい緑が  
感じられる。私もこの心を大切にいつ  
までも生きて行くことであろう。人間は、  
生まれながらに裸である。苦しい時も悲  
しい時も、裸の裸のままで働けば、いつか  
はきへと楽しく語りあえる日がくるので  
はないでしょうか。

胃ガン検診を  
必ずうけましょう

わたくしたちの生命をおびやか  
す「ガン」の中でも胃ガンが一番  
多いです。

30歳すぎたら年に1回のこの検  
診は必ずうけ、早期発見、正しい  
治療で「ガン」の子防につとめ  
ましょう。

●受付時間 4:30~6:30

とき	ところ	対象地区
6月26日	十三公民館前	十三地区
6月27日	藤元公民館前	藤元地区
6月28日	磯松公民館前	磯松地区
6月29日	相内児童館前	相内の1部 と桂川地区
6月30日	。	相内の1部 と太田地区

体育指導員を委嘱

市浦村教育委員会では、4月1  
日付けで次の方々を市浦村体育指  
導員を委嘱しました。

奈良源悦(相内) 下沢国一(太  
田) 秋田谷勇男(相内) 古川政幸  
(磯松) 大谷軍三(相内) 山内莊  
三(相内) 三上輝生(十三) 丁子  
谷 悟(相内) 村元やし子(磯松)  
山中友子(相内)

商業統計調査に協力を

6月1日現在で全国いっせいに



即光業、小売業、飲食店  
を営むすべての商店が対象  
です。商店へは村の調査員  
が訪問して、調査票の記入  
などをお願いします。

新しい一年生に



三和 典子  
(相内小六生)

私達の学校は、皆知  
っているように木造の  
あまり大きくない学校  
です。私達の学校にも新しい一年生が入  
ってきました。それで、先生方はこう言  
います。  
「一年生は何もわからないから、六年生  
が教えてやらなければだめだ」

事故防止のために



村上 さい子  
(十三主婦)

最近、道路で遊んで  
いる子どもたちを見か  
けまらぬ、車の往来が  
はげしく、直前横断など、ハラハラさせ  
られます。  
なかには無謀な運転をする者もありま  
すが、交通ルールをしっかり守ってこそ  
交通事故防止につながると思います。

私達もそう思いますが、なかなか遊んで  
あげられませんが、休み時間は、時間が足  
りないし、昼休み、放課後は委員会活動  
や部活動、そういうわけで、あまりめん  
どうを見てあげることができません。  
「早く学校に慣れ、楽しく通っていき  
る大切なことをしっかりと身につけ、立  
派な相内小学校の一員になってもらいた  
い」と。  
そして、お母さんと約束した、ちゃんと  
守り、「交通事故だけは絶対あわせない  
ように注意してやりたい」と思っています。

子どもには、よくいい聞かせていても  
子どものごです。  
道路へ急に飛び出したり、「危ない遊び  
をしているのを見たら」「で、危険な遊び  
をせずに、厳しくしかつてやるべきです。  
家の子に限って、とその人を憎んだり  
うらんだりしないで、私たちに親たちが  
互いに注意しあって、子どもたちを非行  
と交通事故から守ってあげたいと思いま



# 私が理想とする村づくり

市浦中三年

蒔田伊津子

四方を海と山で囲まれた市浦村。これといった産業もありません。冬期間は多くの出稼ぎも見られます。なにか、沈滞した空気が村全体を覆っているような気がします。でも、私たちの村には自慢できるものがあります。それは「自然です。市浦村は、自然がいっぱい」の村なのです。海水浴客にぎわい、釣りがのんびり釣り糸をたれ、白鳥が渡来してくる海。山菜に恵まれ、遠く近くに野鳥の

## おしらせ

心配ごと、ありませんか

—社福協相談所を開設—

いつでも、どこでも心配ごとをもらたない人はいない。幸い知りあいの中に相談相手を探り得る人はよいとしても、心配ごとの内容によっては平気でうちあけることのできない場合もあります。また、日常ありふれた問題でも、簡単にうちあけることのできる人はなかなか見つからないもの。

こういう問題をかかえては日常生活も暗いものになります。これらを解決するために必要な手続きを援助してあげることもまた福祉の重要な部門であると思います。

この観点から本会では、「心配ごと相談所」を開設していきますので、気軽においでくださるよう、お願いします。

相談委員は次のとおりです。  
浜田春士、本荘珍雄、三和孝徳、村元富弥、鳴海金次郎、竹谷みち、吉田きた、小山あぐり  
相談委員は、毎週土曜日に本会に出勤して相談にあたりませんが、自宅でも相談に応ずることになっています。

## 新しい事務局長に 本荘珍雄さん

市浦村社会福祉協議会の鳴海金次郎事務局長にかり、本荘珍雄さんが新しく事務局長に選ばれました。

本荘さんは、元十三漁協の組合長として地域の漁業振興に手腕を発揮。現在は、民生委員総務、社福協副会長などの役職をもち、関係者から期待されています。

また、鳴海前事務局長は、社福協の幹部として指導「協力」をしていくことになっています。

声が聞かれる山野。そんな自然にはくまれました。私には育ってきました。しかし、最近私達は、そんな自然に慣れすぎ、その大切さを見失っているような気がします。たとえば、十三湖へ渡来する白鳥の数は、年々減ってきています。動物には、あまり関心のなかつた私ですが、数年前から、冬になるたびに「白鳥はどうして少なくなったのか」「どうしたらたくさん白鳥がこの十三湖にもどってくるのだろうか」と心の中でうろたしながら白鳥にえきを与えています。

白鳥を撃ち殺したり、ケガをさせたりするような、心の貧しい人たちがどこにいることも一つの原因かもしれません。白鳥の渡来地としてふさわしくない状態をつくり出しているのではないだろうか、と考える時、私は心が痛みます。人間、だれもが自然を愛しています。そして自分たちの生活も大事にしていきます。より豊かな生活、より快適な生活、より健康な生活を望んでいます。そのため文明の進歩が、自然破壊につながっていった例は少なくありません。

この市浦には、すばらしい自然があるのです。私は、それをそこなうことなく、村全体を覆っているような空気を一掃し、多くの人々が遠く出る隙に行かなくてもすむような、安心して住める村にならないうちで、家族そろって生活していこうと思っています。自然と人間の生活が調和の保たれている村。それが私の描く理想の村です。

また、村の発展に大切なこととして、市浦の人たち一人一人と

りが手をつなぎ、助けあう、そんな心と心のつながり、大切にして村づくりをすすめていきます。

「活力と心豊かな村づくり」を自指して努力することが、私たち村民に与えられた大きな役割ではないかと思えます。

## 秘のほなし

### 所得税の納税は 口座振替で

五十二年分所得の確定申告で、年間の所得税額が五万円以上であった方は、六月十五日付で、五十四年分の予定納税額が通知されます。これは、五十二年分の所得とくらべ五十四年分の所得が大きく変わることがないものとして、五十二年分の税額を三分して、それぞれ第一期分、第二期分として納付する仕組みになっています。そのうち、第一期分の納税額は七月三十一日となります。

所得税の納税のしかたにはNHKの受信料などの支払と同じように「預金口座振替」の方法があります。この方法により、納期限内に預金口座から銀行が振替の方法で納税を済ませてくれますので、納税のために苦しい、期限を失って延滞税を加算される心配もありません。手続きは預金先の銀行、信用金庫、農協などで簡単にできますので、この際ぜひご利用されるようおすすめします。

## 一日消防士の感想文



### 好感の持てた消防士

市浦中三年 黒川史章

火災予防運動の期間中、「一日消防士」に任命された市浦中三年生の黒川君と奈良さんが、火災予防を呼びかける感想文をまとめた。

さてから、消防署内のこと、隊員の日常生活状況などの説明がありました。

その中で驚いたことがたくさんありましたが、特に驚いたことは「一九番」のいたずら電話のことでした。

例えば、だれかが、いたずらに「一九番」をダイヤルしてすぐ受話器をおいたとしても、消防署ではだれにもたずらした人の電話を逆探知して、発見するしくみになっ

ています。

火災が発生したり、救急以外は絶対「一九番」しないようにしたいものです。

中里の消防本部で、他の学校の生徒と合流することになったので出発しました。

集まったのは、私たち市浦中に入れて七校でした。全部の学校が集まると、署内の案内勤務の様子を見学しました。

消防署というところは、みんな忙しい走りまわっているもの、緊張感がみなぎっているのではないかと、思っていたが、署内はきちんと整理され、隊員にも緊張感はなく、とても好感が持てました。

私は「一日消防士」として火災予防に対する認識を新たにし、これからも火に対して細心の注意をはらって行きたいと思っています。本当に有意義な一日でした。

止る役割もはたしている事わかりました。

少ない人数で私たちの命と財産を守るために日夜頑張っている消防士に感謝すると同時に、私も「一日消防士」の経験を生かし、火の後始末などには十分注意して、火災のない明るい村づくりにとめていたと思っています。

### 火災予防にとめる

市浦中三年 奈良道子

また、相手の話を聞きとれない時のために、カセットテープもセットされていました。

消防署の隊員は、夜十時から朝六時までが仮眠時間となっていますが、その間一時間三十分から二時間交代で通信業務に付かなければなりません。いくら疲れていても、熟睡できないことは本当についているのだと思います。

朝の交代時の点呼は、キビ

キビとしていてとても気持ち悪いと感じました。

出動、放水訓練でも、連絡と同時に出勤。目的地の放水準備は数秒で完了。だだに放水し、日頃の成果があらわになりました。

また、いろいろな話を聞く中で、消防とは、ただ火を防

ただでなく、二次災害を防

めたいと思っています。

### 6月～8月 子供の水の犠牲者

### 交通事故の一・四倍



水が悪くなる六月、毎年このころになると、悲惨な子供の水の事故が目立つて増えます。水の事故は、一年中起きているのですが、とくに六月八月に多くなります。

子供たちの水の事故は、ほんのちよっとしたスキに起ります。例えば、親が立ち話に夢中になっている間に、防火用水にはまってしまうというふうなケースもあります。

とくに、幼児の場合は自分で「危険」かどうか判断できませんので、保護者は子供の身になって、安全を考えてあげてください。

子供を水の事故から守るために、保護者は次のような点に注意しましょう。

■子供たちだけで、水泳や水遊びに行かないようにふだんから注意する。行く時は保護者などが同伴する。

■イカダ遊びや、危険な水辺で遊んでいる子を見かけたら声をかけ、安全な場所へ連れて帰るよう注意する。

■家の近くに、ため池や用水池、堰などがあって、状況とかフタがなく危険な状態のまま放置されているときは、所有者に申し入れて早く処置してもらおう。

■雨ふりのあとなど川や用水が増水しているときは、子供を近づけないよう、特に注意する。

子供を水の事故から守るために、保護者は次のような点に注意しましょう。

■子供たちだけで、水泳や水遊びに行かないようにふだんから注意する。行く時は保護者などが同伴する。

■イカダ遊びや、危険な水辺で遊んでいる子を見かけたら声をかけ、安全な場所へ連れて帰るよう注意する。

■家の近くに、ため池や用水池、堰などがあって、状況とかフタがなく危険な状態のまま放置されているときは、所有者に申し入れて早く処置してもらおう。

■雨ふりのあとなど川や用水が増水しているときは、子供を近づけないよう、特に注意する。

子供を水の事故から守るために、保護者は次のような点に注意しましょう。

■子供たちだけで、水泳や水遊びに行かないようにふだんから注意する。行く時は保護者などが同伴する。

■イカダ遊びや、危険な水辺で遊んでいる子を見かけたら声をかけ、安全な場所へ連れて帰るよう注意する。

■家の近くに、ため池や用水池、堰などがあって、状況とかフタがなく危険な状態のまま放置されているときは、所有者に申し入れて早く処置してもらおう。

■雨ふりのあとなど川や用水が増水しているときは、子供を近づけないよう、特に注意する。

子供を水の事故から守るために、保護者は次のような点に注意しましょう。

■子供たちだけで、水泳や水遊びに行かないようにふだんから注意する。行く時は保護者などが同伴する。



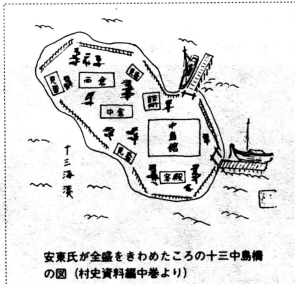
### 津軽の先住民族



▷ 16 ◀

#### 栄枯盛衰の中島

相内川の西、十三湖の北岸に横たわる一小島。この中島は、字十三を訪問する観光客に、夏はただ一ヶ所



安東氏が全盛をきわめたころの十三中島橋の図 (村史資料編中巻より)

## 安東水軍 ①

### 豊島勝蔵

の鯉の採集地として、親子を囚らんさせる場所であり、冬ともなれば群飛ぶ白鳥の悲しきまでの鳴き声が、トサの栄枯盛衰を連想させ、また天空を大様に舞う姿は、俗界の狭き心をかなぎり捨てさせ、広大無辺の世界に心を遊ばせる場所ともなるのです。

トサ港が古代から中世に

#### 安倍氏の最重要地

十三湖が古津軽湾といわれた時代には中島は俗称狐原と陸続した所であつたらしく、縄文土器片や土師器須恵器を豊富に埋蔵しています。十三湖の魚貝や山の山菜鳥獣を狩猟採集して幾世代にわたつて生活していた場所だと思われま

トサの安倍氏の盛人は安東水軍によつてなされたものであるとするならば、中島は安倍氏にとつての最重要地であつたといつて過言ではないのです。この二つのことを頭の中において、これから安東水軍について話します。

#### 古記録に見る水軍

波鏡のごとくならば、他国との貿易の成功を湖水にうつる岩木の神に祈つて出船し、波山のごとくなれば、わが身と同じき船体の安全を尾崎の神に祈つて出船をした安東水軍の起こりは、

たどつてみましよう。古記録をもつては、(1)推三毛浮(麻命即位前三年、戊午(紀元前六六三)、去

を置いてから韓人が多く十三澤に船に上り、この船を季源船と称し、交易盛んとなる。

(3) そもそも十三浦に軍船を浮べなしたるは、荒鷲一族が安倍比羅夫に來遊されてよりなり。紀元六五八(この時、軍船五十艘を比羅夫から賜つたと

(4) 安倍則任が、源氏を討つために流着人韓国の季金振に造船させ平氏に武器を送つたのがはじまりである。紀元一一八五(頃)

(5) 文治元年十月(紀元一一八五)、十三左衛門尉秀元が權化人工季汗江を招いて十三澤に巨船を浮べたのが遠海征潮の創めである。と、五説ぐらゐ記載されていますが、十三澤の最も盛んな時代を考へ、軍団組織のことを考へてみると、十三左衛門秀元、その子秀元の頃に誕生したものとるのが妥当のように思われま

### 村の史跡文宅 ⑥

山王坊、日吉神社、日吉神社のある一帯を山王坊と呼んでゐる。

日吉神社は大津市の日吉神社の本社で、旧暦六月四日、十五日に例祭が行われる。山王坊は、千手坊の跡で、十三余寺が建てられ朝夕の梵鐘と院経が深山にこだまし、参詣者の身を清める霊場であつた。境内からは石仏、五輪塔、墓碑の破片が出土しており、山王造りの京風二重鳥居は近隣にはない珍らしいものとされている。

山王坊は延暦二年(七八二)に創設されたといわれ、長承二年(一一三三)に安倍一族の安業を祈願して十三の山王に日枝神社を建て、永暦元年(一一六〇)、山王に平氏氏園祭平岡を築いた。

長寛元年(一一六三)全剛界曼陀羅により山王に十三宗寺を、さらに胎藏界曼陀羅により阿闍寺を開き唐の国から華嚴法師を招いて解説させた。

「十三往來」の作者、砂門弘智房法印阿闍梨と、「十三新闍」の作者、山王坊精舎阿闍梨明賢も山王の僧であつた。

社協

新しいコミュニティを目指して

現代はマイホーム主義の時代といわれています。地域社会も激しい人口移動、生活様式の都市化、核家族化などによって著しく変化し、住民相互の結びつきはますます薄くなっています。

住民相互の信頼と連帯感に基づいたコミュニティ(近隣社会)の育成が必要と考えられています。

その結果、生活環境の悪化、人間疎外など多くの社会問題が生じています。

「あすを拓くあすなろ県民運動」が誕生しました。

このような現代社会で、うるおいのある住みよい地域社会を築くためには、単に道路、下水、学校などの公共施設を整備するにとどまらず、地域

「県民の意欲と連帯感を高める」

保険料の免除制度をご存知ですか

国民年金には、保険料を免除する制度があります。国民年金に加入していても、毎日の生活が苦しいとか、生活保護を受けているなど、保険料を納められない方がいます。

これらの方は、保険料をそのまましておくと滞納になります。将来、年金を受けることができなくなりますので、届出することによってその期間の保険料を免除する制度が設けられています。どうしても納めることができない場合は、そのまま放置しないで、村役場の国民年金係に手続きしてください。

て、うるおいとままとまりのある地域社会の実現を図ることを直接のねらいとし、このねらいを達成するために三つの目標が立てられています。

- 1、親切で明るい郷土をつくらう。
  - 2、美しい環境をつくらう。
  - 3、みんなで楽しくスポーツに参加しよう。
- さらに具体的には、五つの運動項目を掲げている。
- 1、親切にする運動
  - 2、交通ルールを守る運動
  - 3、花と緑いっぱい運動
  - 4、まちやむらをかきれいにする運動

こころは赤あゆみ



成田茂広さん2女・麻元千夏子ちゃん(生後3カ月)  
衣千子ねえちゃんは、カコ、をとつてもかわいがってくれるの。  
カコ、も保育所へ行きたいなあ……。

社会教育主宰 片山 永繁

戸籍の窓

山田 一成(磯松 清光)	佐藤 実(東京)
葛西明日香(麻元 武芳)	石森トヨコ(相内)
葛西絵里香(藤元 文夫)	廣瀨 絵人(愛知)
相川 勝文(十三) 武夫	山田志賀子(愛知)
本莊 礼美(十三) 完一	桐引 松美(麻元)
相川 和哉(十三) 章次郎	釜海恵美子(岩手)
相坂 静代(十三) 明夫	川原 健矢(岩手)
小山谷春樹(相内) 三春	市川 正子(桂川)
木津谷春樹(相内) 三春	安田ゆみ子(鶴田)
佐藤 鮎子(相内) 進吾	豊島 一秋(十三)
澤田 千秋(磯松 昭雄)	小野由美子(岩手)
米谷 祐治(十三) 幸治	太田 義昭(宮城)
佐藤 智康(青森 昭雄)	下山 良子(相内)
白川 哲平(相内) 徹	村山 修一(十三)
相川さゆり(十三) 常雄	寺田 育世(大阪)
青藤 弘樹(弘前) 修一	中島三洋雄(十三)
桐引亜也子(麻元) 忠雄	中島 豊作(十三) 66歳
佐藤 義宏(相内) 唯治	米谷 さく(相内) 81歳
佐藤 一蔵(相内) 祐蔵	横山 スヤ(十三) 59歳
山田 礼子(十三) 精一	工藤 そわ(相内) 87歳
奈良 秀樹(十三) 政巳	野村 武利(十三) 79歳
佐々木百己(磯松) 治巳	岡本 みよ(相内) 83歳
	三上 ヤエ(麻元) 79歳
	越谷金之助(十三) 80歳

お誕生

おくやみ